



会長:寺下能明 幹事:小林一三 会報委員長:寺下能明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

5/10 (水) 例会ゲスト・ビジター報告

ゲスト・ビジターはございません

《 会長挨拶 》 寺下能明会長

本日も例会にご出席いただき、有り難うございます。
今日の午後、次年度の社会奉仕事業として企画されています、さつまいもの苗植え作業に参加していただいた会員の方々には、ご参加有り難うございます。この作業には、先日卓話においていただいた、「若者サポートステーションわかやま」の職員や関係する若者ら10名弱の方も参加してくれていました。
社会奉仕事業については、いろいろな企画が考えられます。先程開催されました、本年度インターシティーミーティングにおきまして、各クラブの今までの社会奉仕事業の概要が発表されました。ホストの和歌山北 R.C. さんからの報告で、それらを読むことができます。今後の企画に当たり、大いに参考になると思われます。
さて、本日の卓話は、土屋副会長による地区委員会委員長としての卓話でございます。ご清聴下さい。



《 幹事報告 》 小林一三幹事

- ① 2 件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 - ・ I.M. 収支報告 和歌山北 R.C. (ホストクラブ)
 - ・ 2022-2023 年度 月信 4 月号 (P13 に当クラブ社会奉仕事業 二の丸トイレ洋式化改修工事「お城のトイレを快適に」の記事が掲載されました)
- ② ロータリーレート 5 月は 1 \$ = 136 円です。
- ③ I.M. 記録紙がホストクラブの和歌山北 R.C. より届きました。皆様のラックにいれさせていただいておりますので、お目通しください。
- ④ トルコ地震義援金 BOX を今から回させていただきます。皆様のご協力、よろしくお願い致します。
- ⑤ 奉仕事業やクラブ活動に着用いただきますクラブ名入りジャンパーが届きました。希望されました方に本日お渡しさせていただきます。
- ⑥ 5 月の定例理事会は来週 17 日(水)13:30~例会終了後に開催いたします。



「 本日の例会 」 2023 年 5 月 17 日(水) 12:30~ アパローム紀の国

- ・ 開会点鐘 寺下会長 ・ローターソング 四つのテスト、結婚記念日の歌 ・出席報告(例会委員会)
- ・ ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会報告 ・「行事」I.D.M.発表④ ローター情報・規定委員会
- ・ 閉会点鐘 寺下会長

本日の出席報告									
会員総数	36名		出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会
出席免除会員	2名	5/10	24名	70.59%	累計	1,505,700	301,000	376,000	8,000

《 ニコニコ箱報告 》 平 平治会計

寺下君：暑い中、今日のさつま芋の苗植えに参加された会員の皆様、ごくろうさまでした。

土屋君：本日卓話させていただきます。つたない話ですが、あたたかく見守っていただけたら幸いです。

神谷君：今日サツマイモの苗植え作業に参加された皆様、ありがとうございました。

溝落君：皆様、芋の作付けご苦労様でした。

坂口君：芋の苗植えに参加ありがとうございます。

平君：娘に第1子が誕生しました。3人目の孫です。

本人お誕生日お祝い：神谷君、坂口君、谷口君。

配偶者お誕生日お祝い：寺下君。

結婚記念日お祝い：竹中君。



《 米山記念奨学会 》

小林君：主旨に賛同して。

塩崎君：芋 苗植え、お疲れ様でした！

《 東南育英会 》

谷口君：土屋地区青少年・ライラ委員長、本日卓話 宜しくお願いします。



♪ 5月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪

♪おめでとうございます。♪



「 ♪ソング斉唱♪ 」

君が代・われ等和歌山東南ロータリー・バースデイソング 赤在ソング副委員長



「山本将人様 会葬御礼」

父 山本 唯二逝去に際し皆様にはお忙しい中、お越し頂きましてありがとうございました。
また、答礼でも会長様 幹事様 役員の皆様にも大変お世話になりました。重ねてお礼申し上げます。
亡き父も大勢の和歌山東南 R.C. の皆様に見送りいただきまして、喜んでいると思います。
本当にありがとうございました。



「故山本唯二会員への感謝状・財団表彰」

寺下会長より山本様にお渡しいたしました。

- ・第 2640 地区より感謝状をいただきました。
- ・ロータリー日本財団より、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー6 回目の表彰バッジが届きました。



クラブフォーラム 青少年奉仕(東南育英会担当)委員会 「青少年・RYLA(ライラ)について」

第 2640 地区 青少年・ライラ委員長 土屋 一博様



青少年奉仕 (youth Service)

本日は青少年月間として卓話と呼んで頂きありがとうございます。
今期当地区では、青少年・ライラ委員会を仰せつかっている土屋でございます。
所属クラブは和歌山東南ロータリークラブです。本日はよろしくお願ひします。

まず、当地区には、青少年関連の委員会といえば、インターアクト・ローターアクト・青少年交換・そして青少年・ライラ委員会です。他委員会は単名なのに対してライラ担当だけが青少年・とつきます。なぜかと思っていたら、出席義務者として残りの3つの委員会も出なければなりません。そして、パストガバナーからのお言葉で「青少年・(テン) とつくのはそういうことだと聞いて得心しました。ようは単体の青少年委員会というのは、当地区には現在はないので、青少年・ラ

イラ委員会に責務が重ねられます。故に青少年全般を活かして頂き、後にお渡ししているライラセミナープログラムの説明をさせていただくことにします。

1. 青少年とは

各ロータリアンの責務は、(年齢 30 歳までの) 若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、青少年に将来への準備をさせることです。すべてのクラブと地区は、青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であります。

2. 新世代のための会議 (Conference for New Generations)

ロータリークラブは、地域社会レベルで、青少年が地域の指導者と関心事を話し合い、希望、夢、抱負を表明し、自分と地元地域社会の問題の解決策を探るための討論の場を提供すべきです。
(ロータリー章典 40.050.3)

3. 青少年奉仕プログラム

新世代のための RI 常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換があります。年齢 30 歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけようと、ロータリーのプログラムに参加しています。青少年プログラムの参加者は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加することによって、自分自身と世界について発見することができます。そのほか、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念についても学べます。

a. ライラ (RYLA : Rotary Youth Leadership Awards)

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。RYLA の対象となるのは年齢 12~30 歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、12~18 歳、19~30 歳など、年齢層を絞って実施しています。

RYLA は、リーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。

当地区では今回 3 月 25 日から 3 月 27 日 和歌浦武道館にてテーマを「武道からの学び」として実施しました。年齢は 14 歳~32 歳で行いました。セミナーパンフレットを皆様に配布の上説明させていただきます。

b. インターアクト (Interact)

インターアクトは、12 歳から 18 歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

クラブ会員の構成はさまざまです。男子のみ、女子のみのクラブもあれば、男女混合からなるクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は 1 つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の 2 つ以上の学校から成る場合もあります。

毎年、インターアクトクラブは少なくとも 2 つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち 1 つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクター (インターアクトクラブの会員) は地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクターの活動の神髄です。ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの 1 つであり、120 余りの国や地域に 14,000 以上のクラブを擁するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、320,000 人以上の若者とかかわりを持っています。

当地区では、13 クラブの学校があり、スポンサークラブは 12 クラブです。部活の 1 つとして存在するので担当は顧問の先生になります。全体を指すときは顧問団といいます。

c. ローターアクト (Rotaract)

ローターアクトは、18 歳からの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。ロータリーの奉仕の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの 1 つとして、160 余りの国や地域にある 9,000 以上のローターアクトクラブを擁するローターアクトプログラムは、世界的な現象となりました。

現在では賛否はありますが、アクトのメンバーはロータリアンと同格な扱いとなっています。ただ、当地区では 7 クラブありますが、各クラブ共減少傾向にあり増強が急務となっています。

d. 青少年交換 (Youth Exchange)

世界を前進させる力。ロータリー青少年交換に参加する学生は、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし、学校へ通います。

ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は、新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することになります。また参加者は、自国やその文化、自分の考えを出会った人々に伝える若き親善使節として、親しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

年間8,000人以上の若者が、ロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。これは、一生に一度の機会です。

当地区では、以前は短期もあったのですが、現在は予算の関係で長期のみとなっています。短期としては、クラブ間単体同志となりますが、地区への報告を必須とします。

2023-24年度における派遣候補生3名を北米地域に派遣します。

2023-24年度における受け入れ候補生は2名です。

2024-25年度における派遣候補生予定者は最大5名として募集します。

2024-25年度における受け入れ候補生は最大で6名となります。

以上、青少年奉仕とは、次世代への橋渡し、すなわち、明日のロータリー（ロータリアン）の姿であることを理解し、青少年の事業に積極的に参加し理解を深めた上で、青少年の成長の機会を作り、成長を見守ることであると思います。



「次年度(2023-24年度)社会奉仕事業「秋の収穫祭(さつま芋堀)」に向けての準備作業(芋苗植え・水やり)

2023年5月10日(水) 13:00~15:30、場所：嶋本脳神経外科・内科様の横の畑

参加者：和歌山東南R.C.会員13名、東南R.A.C.2名、サポステわかやまより8名

・苗植え前のマルチを切る作業



・苗植え前の水やり

* 苗を植える1箇所ずつ ていねいに水を土に含ませました。





・サツマイモ苗植え (紅はるか・紅あずま) *植えた後は重しのために土をかけていきました。





・サツマイモ苗植え後の水やり





・皆様、暑い中おつかれさまでした。<(_)>



《東南育英会奨学生へ
奨学金贈呈④》

2023年4月26日(水)
16:00～ 向陽高等学校

参加者
寺下会長・小林幹事

